



情報誌

スマイル



2025年 第1号

社会福祉法人大和善隣館  
幼保連携型認定こども園  
蓮代寺こども園

<http://www.rendaijikodomoen.com>



## 大好き♡戸外遊び 一子育て支援室利用の方も園庭で遊びませんか？

子どもたちは全身で自然を感じ取り、心を躍らせながら多くのことを学んでいます。園庭や地域の身近な環境に主体的に関わる中で様々な不思議さや面白さなどを体験し、一人が発見したことが友だちや異年齢児に広がり、さらに多様な活動が生まれたりもします。今回は、各クラスでの戸外遊びでの様子を紹介します。

バシャバシャ！  
気持ちいい！



0歳児

暑い日だったのでたらいに水を張ってみました。初めは「何だろう？」と不安そうにしていましたが、保育者と一緒に水に触れると、徐々に気持ちよさから水面に手を伸ばしたり、バシャバシャと豪快に手を動かしたりして楽しむ姿が見られました。

ご飯だよ



1歳児

砂場に用意した道具を見つけると一人一人好きなものを手にして遊び出しました。砂の上に座り込みコップを持って飲む真似をしたり、器に砂を入れて何度も保育者まで運んで来たりもしました。砂の感触と毎日の生活体験を見立てて十分に楽しみました。

向こうまで走ろう



2歳児

バスに乗って木場潟公園に行きました。芝生が広がる広場に着くと思いきり駆け出して行きました。「ママにあげる」と言いながら、友だちと草花を摘んだり葉っぱを拾ったりして牛乳パックで作ったお散歩バッグに大切そうに入れていました。

飛べるかな？  
頑張れ！

3歳児

農園でアゲハ蝶の幼虫を見つけ、保育室で観察を続けました。保育者と一緒に世話をしていると、いもむしを触る事にも慣れました。さなぎになると、「いつ蝶々になるかな？」と待ち遠しい様子。そしてある朝、アゲハ蝶に。外に逃がす時には蝶々の行く先をずっと見守っていました。

丸くてきれいだね



4歳児

雨の日、合羽を着て農園に行きました。蓮の葉の中央にある雨粒を見つけ、葉っぱを動かす度にそれが動くのを楽しんでいました。雨が降り続き、葉っぱにたまたま粒が大きくなると指で触れ、指先にも雨粒が付いたと友だちと見せ合いながら面白がっていました。

獲れたかな？



5歳児

玄関横の水槽にメダカがいなくなった事に気付き、農園の小川でメダカを捕まえることになりました。でもうまくいきません。そこでメダカ取り作戦開始！考えを出し合い手作りの仕掛けを置いたり、友だちと二手に分かれ追い込んで捕まえたりなど、試すことも楽しみ夢中で捕まえていました。

### 生活に必要な習慣—ハンカチの扱い—

3・4・5歳児は排泄後や戸外活動後の手洗いの時にハンカチを使用しています。ハンカチを使い始めたばかりの3歳児は、扱い方がぎこちないですが、毎日保育者と一緒にいながら少しづつ扱いに慣れてきました。4・5歳児は器用に膝の上で畳むなど工夫しながら経験を重ね、胸の前でハンカチを畳みポケットに入っています。

手拭くことに関しては年齢が上がるにつれて意識し、丁寧にふき取っています。

胸の前で畳  
めるようにな  
ったよ



水滴が残っている所は  
ないかな？

### 生ごみリサイクラーってなに？



園では生ごみリサイクラー（生ゴミ処理機）を2台設置し、給食調理で出た野菜くずなどを器械に入れ、発酵・分解したものを堆肥として花壇や畑に再利用しています。

5歳児に生ごみリサイクラーの話をすると、子どもたちから「やってみたい！」という声が上がり、当番活動の1つとして野菜くずを生ごみリサイクラーに入れることになりました。果物（オレンジやバナナ）の皮なども入れる事が出来ると知ると、分解されやすいよう食後に皮を細かく裂く姿も見られるようになりました。





## 大好き♡戸外遊び

子どもたちは全身で自然を感じ取り、心を躍らせながら多くのことを学んでいます。園庭や地域の身近な環境に主体的に関わる中で様々な不思議さや面白さなどを体験し、一人が発見したことが友だちや異年齢児に広がり、さらに多様な活動が生まれたりもします。今回は、各クラスでの戸外遊びでの様子を紹介します。

バシャバシャ！  
気持ちいい！



0歳児

向こうまで走ろう



2歳児

暑い日だったのでたらいに水を張ってみました。初めは「何だろう？」と不安そうにしていましたが、保育者と一緒に水に触れると、徐々に気持ちよさから水面に手を伸ばしたり、バシャバシャと豪快に手を動かしたりして楽しむ姿が見られました。

ご飯だよ



1歳児

砂場に用意した道具を見つけると一人一人好きなものを手にして遊び出しました。砂の上に座り込みコップを持って飲む真似をしたり、器に砂を入れて何度も保育者まで運んで来たりもしました。砂の感触と毎日の生活体験を見立てて十分に楽しみました。

丸くてきれいだね



4歳児

雨の日、合羽を着て農園に行きました。蓮の葉の中央にある雨粒を見つけ、葉っぱを動かす度にそれが動くのを楽しんでいました。雨が降り続き、葉っぱにたまたま粒が大きくなると指で触れ、指先にも雨粒が付いたと友だちと見せ合いながら面白がっていました。

獲れたかな？



5歳児

玄関横の水槽にメダカがいなくなった事に気付き、農園の小川でメダカを捕まえることになりました。でもうまくいきません。そこでメダカ取り作戦開始！考えを出し合い手作りの仕掛けを置いたり、友だちと二手に分かれ追い込んで捕まえたりなど、試すことも楽しみ夢中で捕まえていました。

### 生活に必要な習慣—ハンカチの扱い

3・4・5歳児は排泄後や戸外活動後の手洗いの時にハンカチを使用しています。ハンカチを使い始めたばかりの3歳児は、扱い方がぎこちないですが、毎日保育者と一緒にを行いながら少しづつ扱いに慣れてきました。4・5歳児は器用に膝の上で畳むなど工夫しながら経験を重ね、胸の前でハンカチを畳みポケットに入っています。

手拭くことに関しては年齢が上がるにつれて意識し、丁寧にふき取っています。

胸の前で畳めるようになったよ



水滴が残っている所はないかな？



### 生ごみリサイクラーってなに？

12 つくる責任  
つくる責任



園では生ごみリサイクラー（生ごみ処理機）を2台設置し、給食調理で出た野菜くずなどを器械に入れ、発酵・分解したものを堆肥として花壇や畑に再利用しています。

5歳児に生ごみリサイクラーの話をすると、子どもたちから「やってみたい！」という声が上がり、当番活動の1つとして野菜くずを生ごみリサイクラーに入れることになりました。果物（オレンジやバナナ）の皮なども入れる事が出来ると知ると、分解されやすいよう食後に皮を細かく裂く姿も見られるようになりました。

